



安全確認と予防対策で 農機による交通事故を防ぎましょう



農機操作時の安全確認と予防対策を見直し、交通事故を防ぎましょう！



事故発生の要因

公道での農機が関係する交通事故は大きく分けて**単独事故**と他の車両からの**追突事故**の2種類！

◆単独事故

- ・ 運転操作ミスや道路環境が悪いことによる用水路等への転落
- ・ 傾斜地等でバランスを崩して横転したり、自然に動き始めた農機の下敷きになる事故

◆追突事故

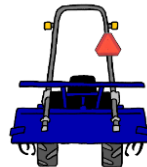
- ・ 後続車から発見されにくいことから、夕暮れ時や昼間のトンネル内での追突



事故防止の対策

◆確実な運転操作とブレーキ連結をしましょう

ハンドルやブレーキ操作の誤りによる転落、横転する事故が多いため、確実な運転操作を行い、道路走行時は必ず左右のブレーキを連結しましょう。



◆安全キャブ・フレームの装着とシートベルトを着用しましょう

救命効果の高い安全キャブやフレームが付いているトラクターを利用し、運転中は必ずシートベルトを着用するようにしましょう。

◆低速車マークや反射材を設置しましょう

一般車両との接触や追突を防ぐためには、周囲に気づいてもらうことが大切です。後続車から見えやすい位置に「低速車マーク」や「反射材」を設置しましょう。



◇周囲のドライバーの皆さんへ◇

夜間や日没前後の時間帯、トンネルを走行するときは、ハイビームを適切に使用し、農耕車や農作業中の歩行者等の早期発見に努めましょう。



令和6年秋の全国交通安全運動が実施されます！

期間：9月21日(土)～9月30日(月) 9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」です。



X(旧Twitter)を運用しています。フォローをお願いします！【石川県警察交通安全情報@IP_koutuu_anzen】

【いぬわし君の交通安全Journal】

◇ 毎月1日、15日(土・日・祝の場合、翌平日)に配信します。

◇ 県警のウェブサイトにも掲載しています。www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/

